

## ■平成29年度 出前授業提供科目一覧 【学内共同教育研究施設等】

### 【国際島嶼教育研究センター】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
島では何を食べているのか	准教授 山本 宗立	事前相談 により調整	アジアからオセアニアの島々における植物利用、特に人々が何を食べているのかを中心にお話します。フィールドワークの写真を通して、その生き生きとしたおもしろさを肌で感じてもらいたいと思います。	全学年	-

### 【総合研究博物館】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
南九州の魚	教授 本村 浩之	事前相談 により調整	日本一の種多様性を誇る南九州の魚の多様性を紹介します。また、外来魚問題について分かりやすく解説します。	全学年	PCプロジェクター スクリーン
魚の博物学	教授 本村 浩之	事前相談 により調整	魚を中心に博物学の起源から新種発表の裏舞台までを紹介します。	全学年	PCプロジェクター スクリーン
カンボジアの自然	教授 本村 浩之	事前相談 により調整	カンボジアの自然を魚を中心にフィールド調査や標本の紹介も含めてお話します。	全学年	PCプロジェクター スクリーン

### 【総合教育機構共通教育センター】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
英語:文体と個性	教授 高橋 玄一郎	後期:火曜	日本でも比較的なじみ深い英米の同時代作家(S. モームとO. ヘンリー)の短編作品を題材として、両作家の作品にみられる文体の特徴を文構造の面から概観し、そこに個性の反映がないか考察してみよう。	2,3年生	パソコン プロジェクター スクリーン (パワーポイント用)
英語:文体と個性(その2)	教授 高橋 玄一郎	後期:火曜	日本でも比較的なじみ深い英米の同時代作家(S. モームとO. ヘンリー)の短編作品を題材として、両作家の作品にみられる文体の特徴を比喩表現の面から概観し、そこに個性の反映がないか考察してみよう。	2,3年生	パソコン プロジェクター スクリーン (パワーポイント用)
英語:コミュニケーション	准教授 ブレিজ・アン	前期:月曜 後期:火曜	英語コミュニケーション(スピーチ等のやり方)など、先方のニーズに応じます。	2,3年生	パソコン プロジェクター スクリーン (パワーポイント用)
英語:コミュニケーション	准教授 トレマー・ジョン	前期:木曜 後期:木曜	大学に進学する前に、大学で「どの様に勉強したら英語を習得できるか'How to Learn'」を教えます。	2,3年生	パソコン プロジェクター スクリーン (パワーポイント用)
教育:大学での学び方	准教授 伊藤 奈賀子 (高等教育研究 開発センター)	前後期:火曜	時間割ひとつとっても、高校までと大学とは大きな違いがある。どのような違いがあるかをあらかじめ知ることで、大学でまなぶための準備をし、自分は大学でどう学ぶかを考える機会としたい。	2,3年生	パソコン プロジェクター スクリーン (パワーポイント用)

### 【研究支援センター】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
目に見えない世界を調べる ー機器分析の化学ー	准教授 澤田 剛	事前相談 により調整	核磁気共鳴装置や赤外分光装置など、最新の分析機器の原理や用途について、例を挙げてわかりやすく講義を行います。また、大学においてどのように研究に利用されるのかについても説明します。	全学年	プロジェクター、スクリーン

## ■平成29年度 出前授業提供科目一覧 【学内共同教育研究施設等】

【男女共同参画推進センター】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
「研究者への道」 (分野により副題を設定します)	法文学部 准教授 中島 祥子 理学部 准教授 新永 浩子 工学部 助教 山下 和香代 農学部 講師 加治屋 勝子 水産学部 助教 加藤 早苗 医学部 講師 三井 薫 歯学部 助教 橋口 真紀子	事前相談 により調整	現在の日本では、自然科学、人文科学そして社会科学の各分野において、多くの研究者が活躍しています。その中で、科学技術の発展に寄与する最先端科学に関する研究、じっくりと時間をかけて取り組む研究、女性ならではの発想を活かした研究など、研究者として、自分の興味・関心を、科学的に解き明かしていく仕事を行っています。研究は、地味で、根気の必要な作業ですが、その先に待っている成果は何事にも代えられない価値があります。また、優れた研究は、往々にして男女共同参画社会を始めとした多様性を認め合う中から生まれて来ているといっても過言ではありません。本講義では、女性研究者から、研究者になったきっかけや研究のおもしろさ、研究と生活のバランス（ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和）の工夫などについて聞き、研究者キャリアへの興味関心を高めるとともに、大学進学や仕事の選択などのキャリア形成のための一助とします。（高等学校とご相談の上、講師・分野内容を決定します）	全学年	プロジェクター スクリーン

【産学官連携推進センター】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
研究成果が社会にたどり着くまで～産学官連携の事例	准教授 中武 貞文	事前相談 により調整	皆さんが進学される大学では日々、研究・教育・社会貢献活動が行われ、知が創出されています。これらがどういった形態で社会に活用されているかを事例を紹介しながら解説していきます。	全学年	プロジェクター、スクリーン